

公共事業事前評価調書(平成 23年度予算要望)

所管課: 都市計画・モノレール課 担当班: 都市モノレール事業班

事業名	沖縄都市モノレール整備事業		事業区分	街路	事業主体	沖縄県 那覇市 浦添市
事業箇所	那覇市首里汀良町～浦添市字前田					
事業の諸元	延長 L=4.1km 構造 跨座型					
事業の概要	沖縄都市モノレールは、那覇空港から首里駅まで整備されているが、首里駅は中間駅としての位置づけであることから十分な整備効果を発揮していないため、当初計画の西原入口(沖縄自動車道)までの4.1kmを延長し、高速道路との連携による公共交通ネットワークの形成を図る。					
事業の必要性・効果等	<p>交通結節機能が不十分である首里駅から西原入口(沖縄自動車道)までモノレールを延長し、高速道路との連携による公共交通ネットワークの形成は、沿線需要に応えるとともに中北部地域からの利用者の利便性向上が図られ、那覇都市圏の交通渋滞緩和に大きく寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の効果等&gt;</p> <p>①沿線需要の拡大とまちづくりの推進・・・石嶺、浦添、西原地域への公共交通サービスの拡大                  ②中北部地域からの広域的利用拡大・・・高速道路との連携による公共交通サービス圏の拡大                  ③交通結節点整備による交通渋滞の緩和・・・バスとの乗換機能の充実</p>					
事業期間	事業採択	平成 23年度	完了(予定)	平成 30年度		
全体事業費	306	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C = 1.5	総便益: B	362 (億円)	総費用: C	240 (億円)	基準年 平成 20年度
		利用者便益	309	事業費	220	
		供給者便益	50	維持管理費等	20	
		計算期末残存価値	3			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	○モノレールの延長整備に向けた取組(沖縄振興計画後期に向けた基本的な考え方) 関連上位計画: 沖縄振興計画、沖縄県総合交通体系基本計画、第3次沖縄県社会資本整備計画					
環境への配慮	自然環境、騒音・振動等の環境調査を実施し、その結果に基づいて対応を検討する。また、景観については、各市の景観検討機関との合意形成を図る。					
関係する地方公共団体等の意見	○那覇市、及び石嶺町にモノレールを延長させる町民総決起大会実行委員会からの要請がある。 ○浦添市、及び浦添市民総決起大会実行委員会からの要請がある。					
概要図(位置図)	<p>施設表示凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院</li> <li>公共施設施設</li> <li>福祉施設</li> <li>住宅団地・集合住宅</li> <li>学校(高校)</li> <li>商業施設</li> <li>区画整理(継続中)</li> <li>区画整理(完了)</li> </ul> <p>ルート表示凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A-4 浦添ルート案</li> <li>駅</li> </ul> <p>延長 L=4.1km</p>					